

事業概要 【高校入試web出願システム導入事業】

自治体名	石川県	人口	1,097,539人	事業費	59,318千円
事業概要	石川県の公立高校入試の事務手続きにおいて、検定手数料の納付が証紙に限られているなど、志願者の利便性が損なわれている面がある。そこで高校入試の一連の出願手続きをデジタル化するため、web出願システムを導入する。検定料納付のキャッシュレス決済化や調査書のデジタル化により、出願手続きがペーパーレスかつワンストップで完了できるようにする。また、志願者、中学校、高等学校、教育委員会をシステム内で連携することにより、すべての立場の方の負担軽減とミス防止につなげる。				
具体サービス	【web出願システム】 - 検定料納付のキャッシュレス決済化 - 志願者はパソコンやスマートフォンにより、いつでもどこでも手続きが可能 - システムを通じて調査書のデジタルデータを送付 - 志願者がWeb上で合否確認 - 県教委が出願状況をリアルタイムで把握 - 各種統計資料の作成				
主なKPI	【アウトプット指標（活動指標）】 ①Web出願システムを利用する中学校の割合 ②Web出願システムを利用する志願者の割合 ③検定料納付のキャッシュレス決済利用率		【アウトカム指標（成果指標）】 ①志願者の満足度 ②入試手続き時間の短縮		

サービス名	高校入試web出願システム	事業費	59,318千円
ターゲット	志願者（中学生[1万人程度]及びその保護者）、中学校[89校]、高等学校[46校]、教育委員会[3]		
サービス内容			

＜志願者＞

- 検定料納付のキャッシュレス決済対応。
- （期間内であれば）パソコンやスマートフォンにより、時間や場所にとらわれない手続（出願、受験表出力等）の実現
- Web上による合否確認

＜中学校・高校＞

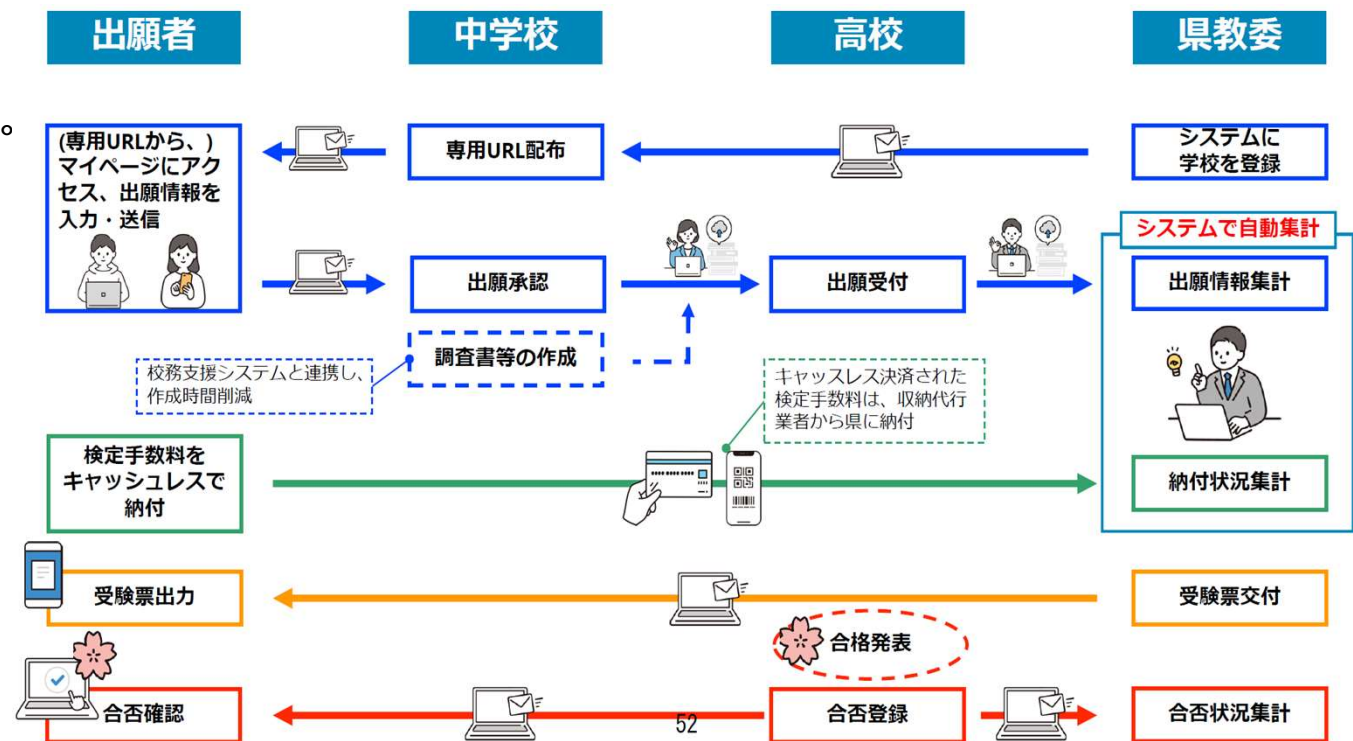
- 調査書データをシステム通じて送付。

＜教育委員会＞

- 出願状況のリアルタイム把握
- システム上で自動で統計データ化

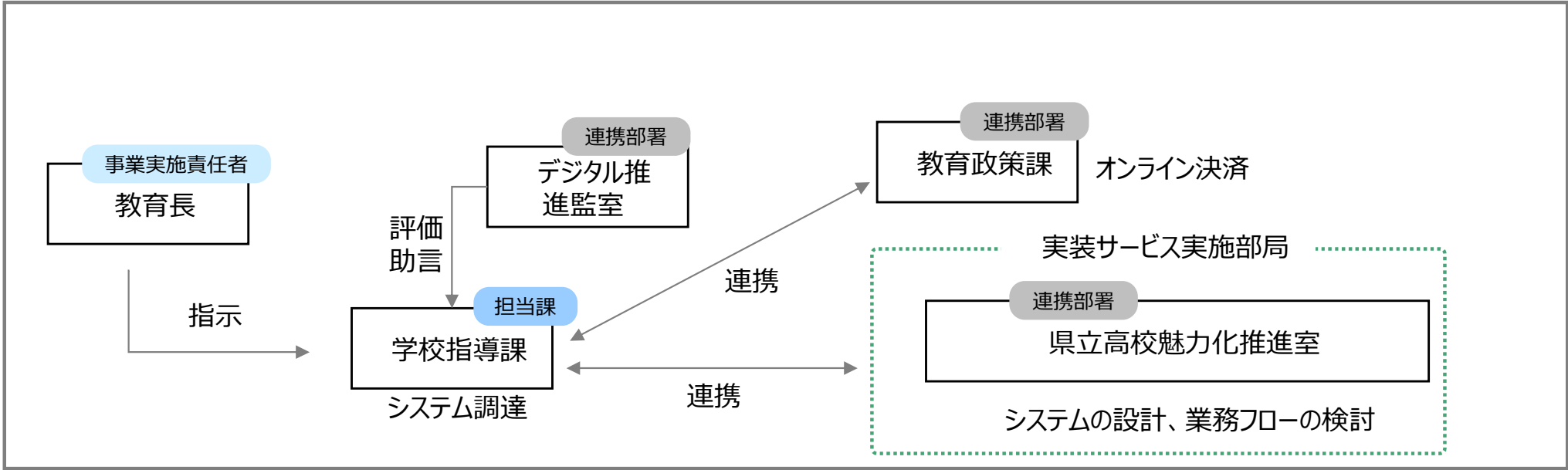
＜全体＞

- 県外からの出願をシステム対応



- ☑ 上記サービスの実装にあたり、国による他の補助金等の対象となる可能性のある事業は、当該補助金等を利用することについて確認した

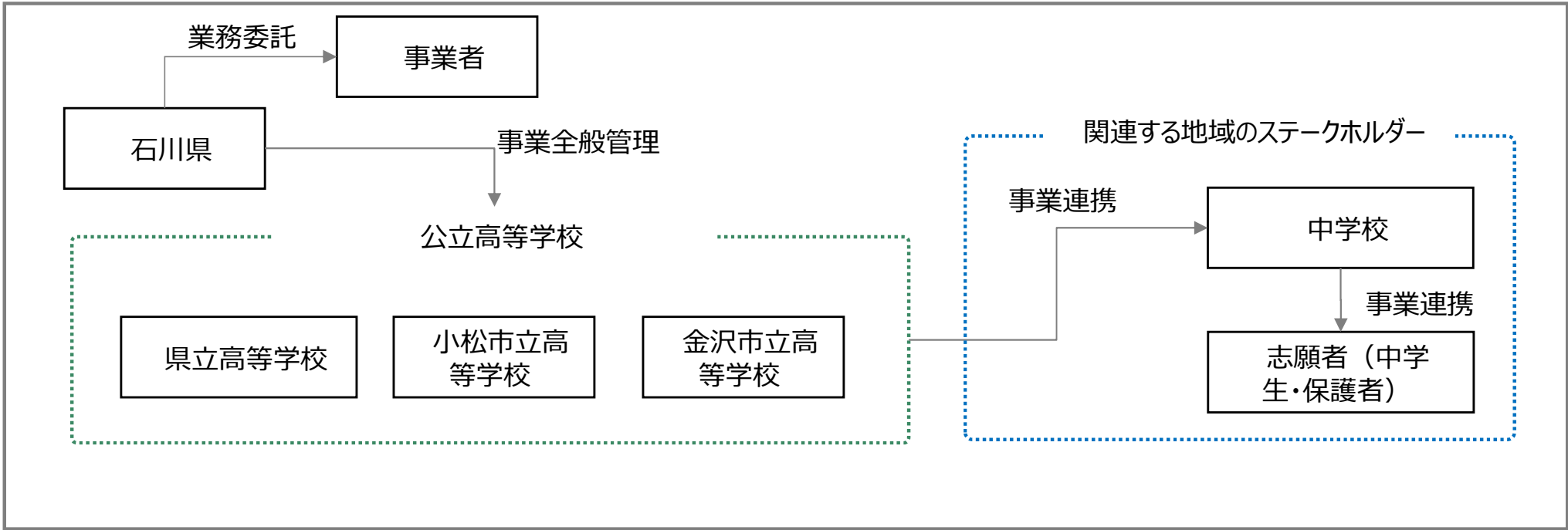
■ 庁内の推進体制



【各課室の役割】

名称	名称	役割
事業実施責任者	教育長	・ 事業全体のマネージメント・進捗管理
事業担当課	学校指導課	・ システムの調達、関連機関との調整、周知広報
連携部署	県立高校魅力化推進室	・ システムの設計、業務フローの検討
連携部署	教育政策課	・ オンライン決済導入に係る調整
連携部署	デジタル推進監室	・ 交付金申請、取りまとめ、システム設計への助言

■ 事業推進体制



名称	役割
石川県	- 事業計画の立案 - 報告書作成をはじめとする事業全般の管理
県立高等学校	システム実装機能の要望
小松市立高等学校	事業連携
金沢市立高等学校	事業連携

名称	役割
中学校	システム実装機能の要望
志願者（中学生・保護者）	システム実装機能の要望
事業者	システム開発の業務委託先

■ サービスを地域に普及・定着させるための工夫

- 高校入試の出願に係るシステムが大きく変更になることから、利用者の不安を払拭するために、時間をかけて丁寧に周知等を行う。県のHP等で概要を公開するとともに、あらゆる場面（校長会、教育長会、高等学校、中学校等）で説明会を実施する。
- 専用のヘルプデスクを設置し、利用者からの問い合わせにはすばやく丁寧に対応する。



■ サービスの質やユーザー満足度の向上・改善の手法

- どのような頻度や手法で利用者のニーズや意見を把握するか
試験運用の期間をしっかりと確保し、実際のシステム利用者の意見をシステムに反映させる。初年度は主にシステム体験会に参加した方の意見を、2年目以降は実際のシステム利用者の意見を、それぞれWebアンケートで収集する。
- どのような観点でその結果を分析するか
使いにくい点や不便な点などを、率直な意見を集約し、実際のシステムに反映させるようにする。記述式の意見をAIなどに要約させることで課題となっている点を洗い出し、システムの改修につなげる。
- どのような体制で評価・改善案の検討を行うか
担当課での評価の他、市町教育委員会連合会等からの意見を参考に改善を行う。

■ 運営計画（KPI達成のための中長期スケジュール）

